

【警告】

- 1) 圧力が異常上昇した場合は、電源を切ること
[やけどのおそれ]
- 2) 本品のドアを開けるときは、内部の圧力が（0MPa）であることを確認し、ドアをあけること。
[内部の蒸気の噴き出し]

【禁忌・禁止】

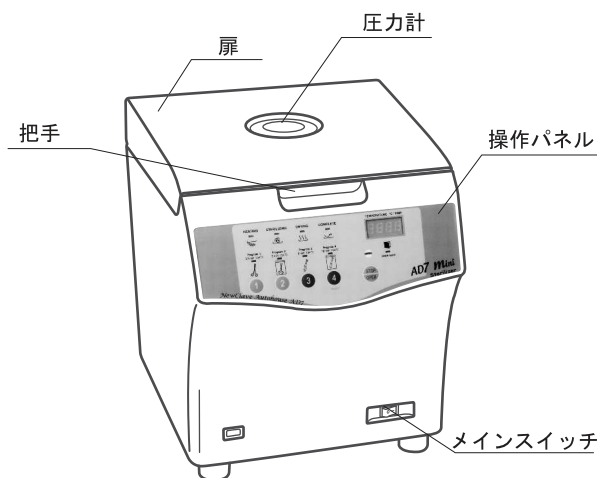
＜使用方法＞

- 1) 内部に滅菌物以外の物や引火性、爆発性物質を入れないこと。[故障や事故のおそれ]
- 2) 運転中はドアをあけないこと。
[やけどのおそれ]

【形状・構造及び原理等】

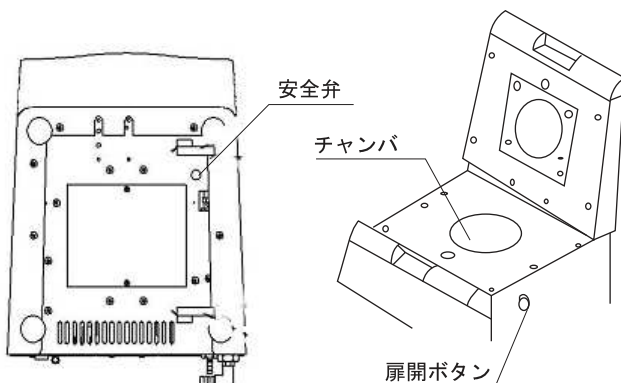
- 1) 本装置の基本構成は、扉、チャンバ、把手、圧力計、メインスイッチ、安全弁、操作パネルで構成されます。
- 2) 装置外観図

〔本体正面図〕



〔本体底面〕

〔本体内部〕



3) 動作原理

チャンバ内のタンクから注水した定量の水をヒーターにより加熱し蒸気を発生させ、チャンバ内の空気を押し出し排出する。十分な空気排除ののち、弁を閉じチャンバ内を加湿、加圧し、設定温度及び圧力を所定の時間維持することで滅菌を行う。

4) 電氣的定格

定格電圧 AC100V
周波数 50Hz または 60Hz
消費電力 1400W（ヒーター：1300W）
電撃に対する保護の形式 クラス I のME機器

- 5) (1) 本体寸法：L390×W320×H360（mm）
(2) 本体質量：23kg

【使用目的又は効果】

高压を有する蒸気を容器に導入し湿熱を利用し医療に使用する器具機材等を滅菌すること。

【使用方法等】

1. 準備
 - 1.1 水容器が満杯になっている場合は、水を捨ててください。
 - 1.2 3Pプラグ用コンセントに本品の3Pプラグ電源コードを差し込みます。
 - ・コンセントの電圧が100Vであることを確認する。
 - 1.3 メインスイッチをONにします。
2. 操作
 - 2.1 STOP/OPENボタンを押すと扉がわずかに開きます。
 - 2.2 扉開ボタンを押すと扉が全開に開きます。
 - 2.3 バスケット又はHPラックを取り出し、その中に滅菌物を均等に置きます。
 - ・蒸気が機器全体に回るように、各機器の間隔を置いてください。
 - 2.4 計量カップを使用し水300C.C.をチャンバに充填する。
 - ・RO水（逆浸透膜水）や蒸留水、精製水を使用し、水道水は使用しないでください。
 - 2.5 HPラックまたはバスケットをチャンバに入れ、扉を適切にロックします。
 - ・ドアが正しくロックされていないと[DOOR AJAR]が点灯し続けます。
 - 2.6 目的に合わせてコースを選択してください。
 - 2.7 本品のヒーターが作動すると[HEATING]が点灯します。
 - ・選択した滅菌温度に達するまで[HEATING]が点灯します。
 - 2.8 滅菌温度に達すると、[STILILIZING]が点灯します。
 - 2.9 滅菌が完了した後、自動的に通気及び排水を行います。
 - 2.10 空気と水の排出後、チャンバの温度が100℃まで低下すると「ピープ音」が鳴ります。その後、わずかにドアが開き乾燥します。
 - ・このとき、[DRYING]が点灯し、ディスプレイにはカウントダウンが表示されます。
 - 2.11 乾燥後、長い「ピープ音」が鳴り、すべての手順が完了したことを示すために[COMPLETE]のインジケータが点灯します。
3. 使用後
 - 3-1 【保守・点検に関わる事項】に従い、清掃を行う。

【使用方法等に関連する使用上の注意】

- ・ 詳細については取扱説明書を参照のこと。
 - ・ アースが完全に接続されている接続されていることを確認すること。
 - ・ むやみに電源をONまたはOFFにしないこと。
 - ・ 被滅菌物は必ず洗浄を行い、十分な水で洗い流したのち、乾かしてから滅菌すること。
 - ・ 先の細い滅菌物は、附属のバスケットの底から突き出してしまいうおそれがあるため、滅菌パック、ケース等を用いて滅菌すること。
- **・ 給水に使用する水は、RO水や蒸留水、精製水等を使用し、水道水は使用しないでください。

【使用上の注意】

詳細については取扱説明書を参照すること。

1. 重要な基本的注意

- ①運転中は装置が高温になるため、取扱に注意すること。
- ②電源プラグは必ず専用のアース端子付きの医用コンセントに接続すること。アース端子付きコンセントがなく、やむを得ずアダプターを使用する時は、附属品のアース線を使用し、本体裏側に必ずアース線にて確実に接地すること。
- ③滅菌終了時に扉付近に顔や手を近づけないこと。
[やけどのおそれ]
- ④扉を開ける際は圧力計を確認し、内圧が0kPaになっていることを確認すること。
[やけどのおそれ]
- ⑤煙が出たり、異臭や樹脂の燃えるような匂いがした場合には、ただちに電源を切り、電源プラグを抜いて製造販売業者へ問い合わせを行うこと。
- ⑥電磁妨害波を発生させる機器の周辺では使用しないこと。
- ⑦本品は他の機器と隣接または積み重ねて使用しないこと。
- ⑧本品に、水、滅菌水、生理食塩水、薬品などがかからないようにすること。
- ⑨本品はなるべく患者から離して使用すること。

2. その他の注意

- ・ 本品は平らで安定した場所に置くこと。
- ・ 落下等の強い衝撃を与えないこと。
- ・ 本品の両側に少なくとも10～15cmのスペースを確保し使用すること。
- ・ 使用中に少しでも異常を感じたら使用を中止し、製造販売業者まで連絡すること。
- ・ 本品を移動する際は、必ず水を排水すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜耐用期間＞

製造の日から、正規の保守点検を行った場合に限り5年間[自己認証（弊社データ）による]とする。

【保守・点検に係わる事項】

- 1) 本品の保守点検の管理責任者は、使用者側にあります。本品を安全にご使用いただくため、定期的な点検の実施をお願いします。
詳細については取扱説明書を参照すること。

①清掃

＜器具表面＞毎日

- ・ 中性洗剤を使用して濡れた布で表面を清掃し、柔らかい乾いた布で拭いてください。

＜水容器＞毎日

- ・ 滅菌6回を目安に水を捨ててください。

** <チャンバ＞毎日

- ・ 濡れた清潔な布を使用して、扉の内側部分とチャンバの内側を拭きます。

＜清掃時の注意＞

- ・ 運転直後などはチャンバや水タンクの水が熱くなっている恐れがあるため、十分に冷えた状態で作業すること。
- ・ ワイヤブラシ、アイロンブラシ、漂白器を使用しないでください。

②定期的な点検

＜使用者による保守点検事項＞

- ・ 水フィルタ：目詰まりしていないかの確認をする。
- ・ パッキン：硬化、ひび割れしていないかの確認をする。
- ・ 安全弁：蒸気漏れがないことを確認する。

＜業者による保守点検事項＞

- ・ 安全弁：一年に一回以上、業者による点検若しくは交換を行うこと。

**・ パッキン：1年ごとにパッキンを交換すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者

日本アイ・エス・ケイ 株式会社 デンタル事業部
〒300-4297
茨城県つくば市寺具1395-1
TEL：029-869-2001

製造業者

APOZA Enterprise Co., Ltd.
(アポザ エンタープライズ)
製造国 台湾

取扱説明書を必ずご参照下さい。